

科目名	自然保育 I				担当	酒井 真由子・市東 賢二・堤 裕美		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2 年前期	実務経験	—	
必修	保育士：選択必修		レク：選択必修		ナンバリング	Y3205	DPとの関連	4
授業概要	自然を活用した実践的な学習を通して、自然体験活動の楽しさや喜びを体験するとともに、自然保育に関する基本的な知識と技術を習得する。自然体験活動を実施している団体の活動に参加することを通して、自然のなかで遊ぶ子どもの姿と自然そのものを観察し、領域ごとに子どもが経験し身に付けていく内容の関連と自然保育の意義を考察し、仲間との話し合いを通して、自然保育に取り組む思考力と実践力を身につける。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保育の基本的な考え方について説明できる ・野外での安全対策や服装・準備物について理解し、実践できる ・自然のなかで遊ぶ子どもの姿と自然そのものを観察し、それをもとに、自然保育の意義を考察したり、仲間と話し合ったりして、自然保育の実践を構想することができる 							
授業計画	回	内容						
	1	オリエンテーション (ガイダンス)	自然保育の理念と意義、野外保育団体や森のようちえんについて調べ、信州型自然保育について学ぶ					
	2	子どもの遊びと自然体験活動①	自然を活用したゲームを実施する					
	3	自然体験活動の特質(リスクマネジメント)	野外での安全対策について学ぶ					
	4	自然体験活動の実践① (自然体験活動の安全管理)	自然体験活動の環境を散策しながら学ぶ					
	5		小刀の使い方と置き方を学ぶ					
	6		火起の道具を使って火を起こす					
	7	子どもの遊びと自然体験活動②	自然を活用した遊びを実施する					
	8	自然体験活動事前学習	自分が参加する自然体験活動団体について調べ理解する					
	9	自然体験活動の実践②	自然体験活動の環境の整え方を学び実践する					
	10		子どもとともに自然の中で遊ぶ					
	11		領域の内容と子どもの姿を結びつけて子どもを理解する					
	12	裏山における遊び場作り①	裏山の遊び場の構想を練る					
	13	裏山における遊び場作り②	道具と材料をそろえて遊び場を作る					
	14	裏山における遊び場作り③	作った遊び場で遊び、改善していく					
15	自然体験活動事の報告会	自然の中で遊ぶ子どもが経験していることを領域との関連や遊び場作りの報告及び自然保育の実践の構想を発表する						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保育の基本的な考え方について説明できる ・野外での安全対策や服装・準備物について理解し、実践できる ・自然のなかで遊ぶ子どもの姿を観察し、それをもとに、自然保育の意義を考察したり、仲間と話し合ったりして、自然保育の実践を構想することができる 							
評価方法	授業態度 35% レポート 20% その他 (最終報告) 45%							
フィードバック 方法	課題を確認したら、授業内で返却する							
アクティブ ラーニング	自然保育の実習、調べ学習、グループワーク、プレゼンテーション							
教科書	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針原本』内閣府・文部科学省・厚生労働省							
参考書	授業内で随時指示する							
履修条件	<ul style="list-style-type: none"> ・自然体験活動団体の活動に参加する際の交通費等がかかる ・長靴、軍手、帽子、雨カップ (セパレートタイプ) などの装備が必要 ・参加型の授業が中心となるので、積極的に参加する力を有することを望む 							
授業外学習	事前学習 (30 分程度)：自然保育について友人との討議の機会をつくり思考を深めること。 事後学習 (1 時間程度)：授業で扱った事項に関する学びと自己の課題を「振り返りシート」に記述する。その他、授業内で課題を指示する。							
オフィスアワー	学生支援課の掲示板に掲示する							